

新学習指導要領に対応した簡単な単元計画の構造図

① 単元名	中学校 第3学年 保健分野 「健康な生活と疾病の予防」		授業の計画の想定	
② 指導内容の概要	③ 学習指導要領の内容	④ 学習指導要領解説の記載内容	⑤ 学習内容・目標	⑥ 発問や学習活動のイメージ
(4)健康な生活と疾病の予防について理解を深めることができるようにする。	(エ) 感染症は、病原体が主な要因となることが多いこと。また、感染症の多くは、発生源をなくすこと、感染経路を断つこと、主体の抵抗力を高めることにより予防できること。	(ア)感染症の原因とその予防 感染症は、病原体が環境を通じて主体へ観戦することで起こる病気であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、結核、コレラ、ノロウイルスによる感染性胃腸炎、麻疹、風疹などを適宜取り上げ理解できるようにする。 病原体には細菌やウイルスなどの微生物があるが、温度、湿度などの自然環境、住居、人口密度、交通などの社会環境、また、主体の抵抗力や栄養状態などの条件が相互に複雑に関係する中で、病原体が身体に進入し、感染症が発病することを理解できるようにする。感染症を予防するには、消毒や殺菌等により発生源をなくすこと、周囲の環境を衛生的に保つことにより感染経路を遮断すること、栄養状態を良好にしたり、予防接種の実施により免疫を付けたるなど主体の抵抗力を高めることが有効であることを理解できるようにする。 (イ)エイズ及び性感染症の予防 エイズ及び性感染症の増加傾向とその低年齢化が社会問題になっていることから、その疾病概念や感染経路について理解できるようにする。また、予防方法を身に付ける必要があることを理解できるようにする。例えば、エイズの病原体はヒト免疫不全ウイルス(HIV)であり、その主な感染経路は性的接触であることから、感染を予防するには性的接触をしないこと、コンドームを使うことなどが有効であることにも触れるようにする。なお、指導に当たっては、発達の段階を踏まえ、学校全体で共通理解を図ること、保護者の理解を得ることなどに配慮することが大切である。	10 感染症とその予防1 ・感染症の起こり方とその予防について理解する。 ・感染症予防対策について考える。	【導入】南極では、寒い冬に比べて発生が少なく、観測隊が入れ替わる夏にその数が増えるそうです。それはなぜでしょうか。 ①感染症とはどんな病気だろうか。 ②感染症は、どんな時期や状態に発生しやすいだろうか。 ③一緒に生活していても、感染症にかかる人とかからない人がいる。それはなぜだろうか。 ④感染症は、その感染経路と侵入経路によって、大きく三つに分類できる。教科書の資料にある結核、インフルエンザ、ノロウイルス感染症はそれぞれ代表的なものである。どんな特徴があるだろうか。 ⑤ニュースで見聞したことのある感染症を挙げてみよう。
			10 感染症とその予防2 ・感染症の起こり方とその予防について理解する。 ・感染症予防対策について考える。	【導入】インフルエンザが流行しても、同じ教室の中で発病する人とならない人がいるが、両者にはどんな違いがあるだろうか。 ①感染症を予防するための対策には、それぞれどんなものがあるか、考えてみよう。 ②私たちの周りには数多くの病原体が常に存在しているが、体はどのようにして病原体の侵入を防いでいるのだろうか。 ③体の中に病原体が侵入したとき、病原体から体を守る仕組みが働く。どんな仕組みで体を守っているのだろうか。 ④自分のクラスが学級閉鎖になったとして、自分に何も症状がない場合、どのように過ごせばよいだろうか。
			11 性感染症とその予防/エイズ1 ・性感染症とその予防について理解する。 ・性感染症の予防について考える。	【導入】次のうち、正しいものに○を書いてみましょう。 ①性感染症はどのようにして人から人感染していくのだろうか。 ②性感染症の病原体は、感染者の精液や経分泌液、血液などの体液や生殖器や口などの周りに存在する。性的接触でこれらが感染しやすくなるのはなぜだろうか。 ③性感染症を予防するためにはどうすればよいだろうか。 ④では、性感染症を予防するには、具体的にどんなことが大切だろうか。 ⑤性感染症にかかったり、うつしたりしないようにするためには、どんなことに注意したらよいか、話し合ってみよう。
			11 性感染症とその予防/エイズ2 ・性感染症とその予防について理解する。 ・性感染症の予防について考える。	【導入】次の各文で、正しいものに○を書いてみましょう。 ① エイズという病気を聞いたことがあると思う。この病原の病原体は何だろうか。 ②性感染症に感染していると、HIVに感染しやすいのはなぜだろうか。 ③性感染症の予防方法を思い出しながら、HIV感染の予防方法について考えてみよう。 ④「検査でHIVに感染していることがわかって、治せないなら無駄ではないか。ショックを受けるくらいなら、知らないほうがいい」といった意見について、どう考えるか。
	(オ) 健康の保持増進や疾病の予防には、保健・医療機関を有効に利用することができること。また、医薬品は正しく使用すること。	地域には、人々の健康の保持増進や疾病予防の役割を担っている保健所、保健センター、医療機関などがあることを理解できるようにする。健康の保持増進と疾病の予防には、各機関が持つ機能を有効に利用する必要があることを理解できるようにする。また、医薬品には、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて理解できるようにする。	12 保健・医療機関の利用 ・保健・医療機関の役割と利用の仕方について理解する。 ・自分が住んでいる地域の保健・医療関係について知る。	【導入】次のようなときは、どこに相談すれば、あるいはどんな施設を利用すればよいでしょうか。 ①保健所、保健センターなどの保健機関は、私たちの地域でどんな働きをしているのだろうか。 ②ふだんよく利用する診療所や病院などを書き出してみよう。また、内科、歯科以外に、どんな診療科目があるのか書き出してみよう。 ③「かかりつけ医」を持つことの利点について考えてみよう。 ④地域の保健所、保健センター、診療所、病院などを探して、地図に記してみよう。
			13 医薬品の有効利用 ・医薬品の作用と正しい利用について理解する。 ・医薬品の使い方について考える。	【導入】これまでに、教科書に書かれているような薬の飲み方をしたことがあるか、チェックしてみよう。 ①医薬品にはどんなものがあるだろうか。 ②これまでに使用した薬には、どんな形のものがあつたらうか。 ③薬局などで買った医薬品の説明書を読んだことがあるだろうか。説明書には、どんなことが書かれているだろうか。 ④なぜこのようなことが書かれているのだろうか。 ⑤次の医薬品の使い方はどこが間違っているか、考えてみよう。
	(カ) 個人の健康は、健康を保持増進するための社会的取組と密接な関わりがあること。	健康の保持増進や疾病の予防には、人々の健康を支える社会的な取組が有効であることを理解できるようにする。ここでは、住民の健康診断や心身の健康に関する相談などを取り上げ、地域における健康増進、生活習慣病及び感染症の予防のための地域の保健活動が行われていることを理解できるようにする。	14 共に健康に生きる社会 ・人々の健康を守るために、地域でどんな活動が行われているかについて理解する。 ・みんなの健康を守るために、自分たちができることを考える。	【導入】命や健康を守るための支え合いで、知っていること、感動したこと、自分や身近な人がしたことなどを挙げてみよう。 ①健康を守るためにどんな活動が行われているだろうか。 ②安全(命)や健康は、社会的活動があって成り立っていることがわかったが、私たち一人一人にできることはあるだろうか。 ③健康は私たちの権利である。世界保健機関憲章の前文にもこのことが明記されている。どのように書かれているかみてみよう。 ④みんなの健康を守るために、どんなことができるだろうか。今すぐに(中学生の命)でも、できそうなこと、将来、してみたいと思うことを考えてみよう。
⑥ 内容の取扱い	内容の(4)のエについては、後天性免疫不全症候群(エイズ)及び性感染症についても取り扱うものとする。			

評価規準・評価機会の想定		
関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解
① 感染症の予防について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的	① 感染症の予防について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見つけたら、選んだりするなど	① 感染症は病原体が環境を通じて主体へ感染することで起こる病気であること、適切な対策を講ずることや予防できることを書いたり書き出したしている。 ② 病原体には、細菌やウイルスなどの微生物があり、自然環境や社会環境、また主体の条件などが相互に関係する中で、病原体が身体に侵入し感染症が発症する
② 感染症の予防について、課題の解決に向けての話し合いや意見交換などの学習活動を意欲的に取り組もうとしている。		③ 発生源をなくすこと、感染経路を遮断すること、身体を抵抗力を高めることが予防に有効であることについて、言ったり書き出したしている。
		④ 性感染症の疾病概念や感染経路、また予防法を身に付ける必要があることについて、言ったり書き出したしている。
	③ 感染症の予防について、学習したことを自分たちの生活や事例などと比較したり、関係を見付けたりするなどして、筋道を立ててそれらを	
	④ 保健・医療機関や医薬品の有効利用について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりする	⑤ 地域には、人々の健康の保持増進や疾病予防の役割を担っている保健所、保健センター、医療機関などがあること、健康の保持増進と疾病の予防には、各機関が持つ機能を有効に利用
③ 保健・医療機関や医薬品の有効利用について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もうとしている。		⑥ 医薬品には、主作用と副作用があること、使用回数、使用時間、使用量などの使用方法があり、正しく使用する必要があることについて言ったり
④ 健康な生活と疾病の予防について、健康に関する資料を見たり、自分たちの生活を振り返ったりするなどの学習活動に意欲的に取り組もう	④ 健康な生活と疾病の予防について、健康に関する資料等で調べたことを基に、課題や解決の方法を見付けたり、選んだりするなどして、そ	⑦ 健康の保持増進や疾病の予防には、人々の健康を支える社会的な取組が有効であることについて理解したことを
関心・意欲・態度、思考・判断は、知識・理解と合わせても2以下になるように設定する(1時間3観点そろわないように)。		
知識・理解は、毎時のワークシートや小テストから評		